

第13回 地域連携症例検討会

～「知っている」と「知らない」では大違い～ 『知っている』だけで役に立つ 地域医療連携のための眼形成小話

眼形成眼窩外科 医長 笠井 健一郎



2018年11月30日(金)19:30～21:00に、第13回地域連携症例検討会を、当院大会議室で開催いたしました。

今回は、～「知っている」と「知らない」では大違い～『知っている』だけで役に立つ地域医療連携のための眼形成小話と題し、クイズ形式で検討を行いました。

院外21名、院内33名、合計54名と多くの方々にご参加いただきました。

参加者は、医師、研修医、看護師、視能訓練士、社会福祉士、臨床工学士、検査技師、診療情報管理士、看護助手、事務など、多職種にわたりました。

講演の最後には、クイズで優秀な成績をおさめられた天龍堂藤巻医院 藤巻純子先生（院外）、当科医師事務作業補助者（MA）石川美鈴さん（院内）に、表彰状を授与いたしました。

ご参加いただいた皆様、診療で大変お忙しい中を、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

以下は紹介するポイントや注意点について、Take-home messageとして、お話した内容のまとめです。ご参考になれば幸いです。

I. 眼科と眼形成眼窩外科の違い

- 簡単に言えば、眼科は、眼球自体を主に扱い、眼形成眼窩外科は、眼球の外を主に扱う診療科です。
- 眼球の外とは、眼瞼および結膜、眼窩、涙道などの外眼部を指します。
- この領域は、眼科および形成外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、口腔外科などとの境界領域ですが、この分野を専門とする施設は、全国にも少ないのが現状です。
- 当科の最大の特徴は、眼科専門医が、視機能を考慮して診療を行うことであると言えます。

II. 眼瞼

1. 上眼瞼皮膚弛緩症、上眼瞼下垂症

- 眉毛挙上にごまかされないようにしてください。
- 上眼瞼下垂症の原因は様々です。危険な疾患が、隠れているかもしれません。
- 瞳孔が覆れたら、手術適応です。

2. 内反症

- 内反症には、小児の睫毛内反症と高齢者の下眼瞼内反症の2つがあります。
- 角膜上皮障害や自覚症状があれば、手術適応です。



3. 眼瞼腫瘍

- 霰粒腫は、6か月から1年の間には自然治癒します。
- 良性を疑って、眼瞼腫瘍手術を施行した場合でも、必ず病理組織学的検査へ提出してください。
- 睫毛脱落があれば、悪性腫瘍の可能性があります。
- 小さいうちに手術すれば、侵襲が少なく済みます。迷ったら、早めにご紹介ください。

Ⅲ. 眼窩

1. 眼窩腫瘍

- 暗所で眼だけではなく、明所で顔面も視診し、触診もしましょう。
- 「何か変だな？」という直感を信じ、疑ってください。
- 積極的に眼窩単純CTと眼窩造影MRIを撮影しましょう。
- 効率よく、頻度の高い疾患から慣れましょう。

2. 眼窩骨折

- 眼窩内気腫のエピソードは、眼窩骨折のサインです。
- 眼窩閉鎖型骨折は、10歳代半ばまでが多いです。
- 頭蓋内フリーエアは、頭蓋底骨折のサインです。

Ⅳ. 涙道

1. 涙道閉塞症

- 当科は、段階的な治療を行っています。どこまでやるかは、ご本人のご希望次第です。
- 涙道チューブ留置中の涙道洗浄は、通水できなくても、お気になさらず、無理しないでください。

2. 先天鼻涙管閉塞症

- 1歳半までの保存的治療で、約80%が自然治癒します。
- 治療開始年齢は、1歳半以降で、自然治癒しない場合です。

3. TS-1による流涙

- 流涙患者をみたら、TS-1内服の有無を確認してください。
- TS-1による流涙は、投与後3か月以内に発症します。
- TS-1による涙道障害は、早めにご紹介ください。

Ⅴ. 周術期管理

1. 基本処置

- 圧迫眼帯、術後クーリング、消毒、テープ、デザインについて、ご説明しました。

2. 術後の診療体制

- 術後の診療体制は、術後の状態が安定するまでは、当科とかかりつけ医の2か所の医療機関で、連携して経過観察を行わせていただきます。

3. 当科への術後通院期間の目安

- 当科への術後通院期間の目安は、悪性腫瘍は術後

5年間、眼窩骨折は術後1年間、その他の疾患は術後6か月間です。

Ⅵ. 当科のご案内

詳細は、ホームページ (http://www.tnho.jp/shinryoka_cat/s_gankageka_c) をご参照いただければ幸いです。

1. 通常の初診予約手順

- ① 紹介元の医療機関より地域医療支援・連携センター（直通FAX：027-322-5925）へ、診療情報提供書および事前予約申込書（FAX専用）をFAXし、お申し込みください。
- ② 病状にあわせて予約日時を決定させていただきます。
- ③ 地域医療支援・連携センターより患者さん（またはご家族）へ、後日お電話でご予約の日時をお知らせいたします。

2. 緊急を要する場合の初診予約手順

- ① 紹介元の医療機関より地域医療支援・連携センター（直通TEL：027-322-5835）へ、直接お電話ください。
- ② 医師同士で直接お話し、病状にあわせて予約日時を決定させていただきます。

3. 対象疾患（病気）について

眼瞼：眼瞼下垂症、上眼瞼皮膚弛緩症、睫毛乱生症、睫毛内反症、下眼瞼内反症、下眼瞼外反症、兔眼症、眼瞼裂傷、眼瞼腫瘍

結膜：結膜弛緩症、翼状片、結膜腫瘍

眼球：無眼球症、小眼球症、眼球癆

眼窩：眼窩骨折、眼窩腫瘍、甲状腺眼症

涙道：涙道閉塞症、涙嚢炎、涙小管断裂

4. 当科の現状

多くの方々のご協力によって、2016年10月から外来診療を、2016年11月から手術加療を開始し、2年以上が経過いたしました。近隣の医療機関におかれましては、多数の患者さんをご紹介いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで、順調なスタートを切ることができました。

眼形成眼窩外科は、限られた狭い領域ですが、当科で扱う疾患は、他科領域とも密接に関係しています。

群馬県内に限らず、近隣の医療機関の様々な診療科と病診連携を深めて、患者さんのために、より良い診療を行えることを切に願っております。

ご不明な点がございましたら、遠慮なさらず、いつでもお気軽にご相談ください。

至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると存じますが、今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。